

筑波大学小児科 研究内容

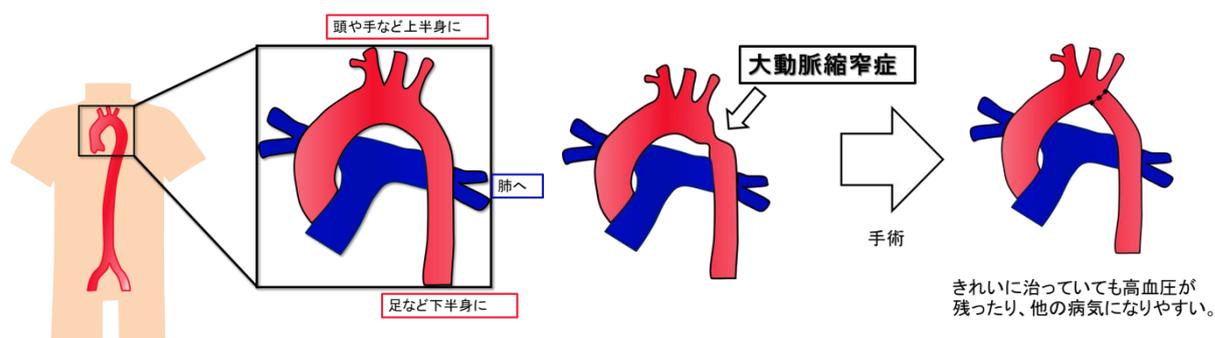
本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は担当者までご連絡をお願いします。

研究名	大動脈縮窄・離断症患者における術後遠隔期高血圧の有病率と機序の解明に関する研究
研究代表者	堀米 仁志
研究グループ	循環器
連絡先	〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学医学医療系小児科 電話：029-853-5635 F A X：029-853-8819
研究期間	筑波大学附属病院倫理委員会承認後 ～2017年3月31日
対象患者・概要	大動脈縮窄・離断症術後患者（12歳～40歳）とそれに対応した健常ボランティア
研究体制	筑波大学単独の研究

2016年11月1日掲載

研究課題名：「大動脈縮窄・離断症患者における術後遠隔期高血圧の有病率と機序の解明に関する研究」

大動脈縮窄症・離断症は、心臓から全身に血液を届けるパイプの役割をする大動脈の一部が細くなっていたり、途切れてしまっている病気で、適切な手術やカテーテル治療により、健常人と変わらない生活を送ることができると考えられてきました。しかし、長期的には狭心症や心筋梗塞や脳梗塞などの心臓や血管の病気にかかる頻度が高いことがわかり、治療により狭窄が解除されても高血圧が持続してしまっていることがわかりました。本研究により縮窄術後の動脈硬化がどのように進行しているか、心筋梗塞や脳梗塞の原因になりえる、血栓という血の塊ができやすくなっていないかを明らかにします。



・対象：今回の研究では、大動脈縮窄・離断症の術後の患者さんと、この病気を持っていない方の両方の参加を募集しています。早期の動脈硬化がないかを調べるため、中学生～30代までの方を募集しています。

・方法：心臓や血管の状態を評価する検査と血液検査を行います。2日間検査時間は両日とも2時間程度、もしくは1日で4時間と見込まれます。そのうち1日は朝食を摂らずに来院していただいて検査を受ける必要があります。

具体的な検査内容は、心臓超音波検査、24時間携帯血圧計、ABI/PWV（上下肢血圧/脈波伝達速度検査）、動脈超音波検査、血管内皮機能検査、中心血圧、血液検査です。もう少し詳しい説明（研究説明書へのリンク）もご参照ください。

・同意と同意撤回について

本研究は皆様の自発的なご協力に基づいており、いつでも撤回や検査の中止が可能です。

・得られた情報、個人情報について

研究のためにのみ利用させていただきます。他の方に漏えいすることがないよう、個人情報をなくす匿名化を行った上で厳重に保管します。

・本研究に関する問い合わせ先

本研究について何かお知りになりたいことや、疑問な点がありましたら、
担当医師に遠慮なくおたずねください。

責任医師：堀米 仁志（筑波大学小児科診療グループ・
茨城県小児地域医療教育ステーション教授）

担当医師：野崎 良寛（小児科診療グループ・医員）

連絡先：筑波大学医学医療系 小児科

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-5635（小児科、平日 8：30～17：15）

FAX：029-853-8819

e-Mail： nozaki-tuk@umin.org

※迷惑メール防止のためメールアドレスは画像ファイルで表示してあります。